

クラウドファンディング  
＜経済的理由を乗り越えて  
フリースクールを利用できるよう  
「授業料補助」を継続したい＞

# 最終報告書



NPO 法人フリースクール札幌自由が丘学園

〒060-0908 北海道札幌市東区北 8 条東 1 丁目 3-10

TEL 011-743-1267

FAX 011-743-1268

[fs@sapporo-jg.com](mailto:fs@sapporo-jg.com)

## 概要

フリースクール札幌自由が丘学園では、経済的に困難のある家庭に対する授業料の減額制度を2016年から始めました。しかし、学園の収入状況が危機的になり、2018年7月からこの制度を停止せざるを得なくなりました。



そこで、クラウドファンディング<経済的理由を乗り越えてフリースクールを利用できるよう「授業料補助」を継続したい>を実施することで、多くの方から寄付を募り、この制度を再開することを目指しました。

結果、多くの寄付をいただき、2019年1月より授業料減額制度を再開できる運びとなりました。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

## 実施方法

クラウドファンディングサイトを企画・運営する株式会社 CAMPFIRE にプロジェクトを登録し、2018年9月10日から10月31日までの52日間にわたって支援の募集を行いました。また、これと同時にクラウドファンディングサイトを通さない直接の寄付も募りました。なお、2019年度も含めて現行通りの減額制度を実施するための金額を試算し、目標金額は2,000,000円としました。

### <クラウドファンディングとは…>

「こんなモノやサービスを作りたい」「世の中の問題を、こんなふうに解決したい」といったアイデアやプロジェクトを持つ起案者が、専用のインターネットサイトを通じて、世の中に呼びかけ共感した人から広く資金を集める方法です。

(朝日新聞社クラウドファンディングサイト「A-port」内の解説より)

## 寄付していただいた金額

クラウドファンディングでの寄付額 = 1,107,000 円

直接の寄付額 = 812,000 円

合計 = 1,919,000 円

以上を、のべ143名の皆様からお寄せいただき、目標への達成率は96.5%となりました。

(2018年11月7日時点)

## 寄付金の利用方法

いただいた寄付金のうち、

154,980円を手数料として株式会社 CAMPFIRE に納入します  
(1,107,000円×14%)。

また、14,020円をリターン（寄付してくださった皆様への  
返礼品）の制作費・郵送費に充てます。



残りの 1,750,000円 を、授業料減額制度実施のための財源として利用します。

## 授業料減額制度について

- ◆前年度分の道民税・市町村民税が課税されていない家庭（上限：9家庭まで）に対して、以下の減額を行います。

授業料 月ごとに -12,000円の減額  
(33,000円 → 21,000円)

※月ごとの納入額は、施設維持費等を合わせて24,000円

- ◆2018年12月現在、6家庭がこの制度を利用する予定です。
- ◆この制度は2019年1月の授業料から適用し、2020年3月までの実施を予定しています。  
財源に追加があれば期間を延長する可能性もあります。  
ぜひ、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

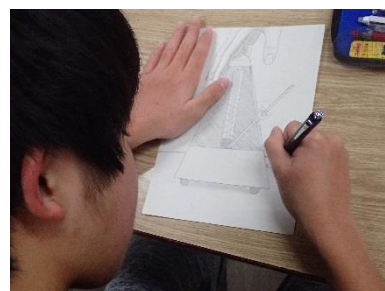
※2019年1月から3月までの利用状況により減ずる金額、上限家庭数、実施期間を再検討します。2019年4月以降の実施方法は決定後、本学園ホームページ・学園通信「希望の樹」に掲載します。

## リターンについて

寄付者の皆様には、お礼のメッセージをお送りし、学園通信を1年間発送いたします。

また、10,000円以上の寄付をいただいた方には、生徒がデザインしたポストカードをお送りします（枚数は寄付額に依ります）。

さらに、50,000円以上の寄付をいただいた方には、ご希望に応じて不登校・フリースクールに関する無料出張講演を行います。



## おわりに

まず、今回支援してくださった皆様、ウェブ上での情報周知などPRにご協力いただいた皆様に、重ねてお礼を申し上げます。このクラウドファンディングを実施したことによって、生徒たちやその家庭が救われたことはもちろん、多くの方々の温かい応援に触れられたことが私たちにとってとても大きな励みとなりました。本当にありがとうございました。

この取り組みによって減額制度を延長することができましたが、これは恒常的な支援体制の構築ではありません。また、学園の収入状況を改善するための取り組みでもありません。この機会に学園の存在や活動意義を知ってくださった皆様におかれましては、今後も賛助会員として学園への支援を継続していただければ幸いです。心よりお願い申し上げます。